

平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月30日

上場取引所 東

上場会社名 テクノアルファ株式会社

コード番号 3089 URL <http://www.technoalpha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青島 勉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室 マネージャー (氏名) 安積良典

TEL 03-3492-7421

四半期報告書提出予定日 平成26年7月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	1,982	80.7	223	—	258	221.5	156	275.0
25年11月期第2四半期	1,096	△22.0	△1	—	80	△59.0	41	△48.8

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 126百万円 (22.6%) 25年11月期第2四半期 103百万円 (15.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	77.82	—
25年11月期第2四半期	19.77	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第2四半期	2,238	1,692	75.6	839.76
25年11月期	2,088	1,620	77.6	803.92

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 1,692百万円 25年11月期 1,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	27.00	27.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

平成26年11月期通期の業績予想については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、開示しておりません。通期の業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期2Q	2,316,000 株	25年11月期	2,316,000 株
26年11月期2Q	300,110 株	25年11月期	300,110 株
26年11月期2Q	2,015,890 株	25年11月期2Q	2,115,890 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期連結決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11
5. 補足情報	12
仕入、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国等の新興国経済の減速などの影響があったものの、政府による経済政策の効果もあり円安、昨年からの株高基調が継続し、個人消費や企業収益に改善がみられるなど、景気は回復傾向にあります。

しかしながら、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、エレクトロニクス事業において大型案件の検収があり、また、第1四半期連結累計期間より連結子会社化した株式会社ケーワイエーテクノロジーズの営むサイエンス事業が好調に推移し、前年同期に比べて売上高、利益ともに大幅に伸張しました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,982,531千円（前年同四半期比80.7%増）、営業利益は223,344千円（前年同四半期は1,860千円の営業損失）、経常利益は258,472千円（前年同四半期比221.5%増）、四半期純利益は156,893千円（前年同四半期比275.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①エレクトロニクス事業

当事業においては、従来、半導体装置事業が営んでおりました当社の主力商品であるワイヤボンダーに代表される半導体製造装置やそれに付随する消耗品等を海外より仕入れ、当社が搬送装置等の付加価値を加えるなどした上で、国内の顧客に販売しております。さらに、電子材料・機器事業が営んでおりましたエレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所向けの研究開発用の小型の機器等を国内外から仕入れ、販売しております。当第2四半期連結累計期間においては、大型案件の検収もあり、好調に推移いたしました。この結果、売上高は1,244,614千円（前年同四半期比113.6%増）、営業利益は169,104千円（前年同四半期は8,343千円の営業損失）となりました。

②マリン・環境機器事業

当事業においては、マリン事業では、大型船舶向けの救命艇を国内メーカーより仕入れ、造船所に販売、ならびに環境機器事業では、液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等を海外より仕入れ、エンジニアリングを行った上で国内の顧客に販売しております。マリン事業については、前連結会計年度以前より受注した案件が予定どおりに売上げました。環境機器事業については、引き合い案件は多くあるものの、当四半期連結会計期間においては低調な推移でした。この結果、売上高は263,675千円（前年同四半期比55.2%増）、営業利益は48,052千円（前年同四半期比75.7%増）となりました。

③S I 事業

当事業においては、連結子会社である株式会社ペリテックが、計測・検査システムを顧客から受託し、自社でハードウェア技術とソフトウェア技術を融合した計測・検査システムに仕上げ、顧客に販売しております。当第2四半期連結累計期間においては、前年同期のような大型案件の検収がなかったものの、売上原価の低減に努めたこともあり、当第2四半期連結累計期間においては利益面で堅調に推移いたしました。この結果、売上高は221,012千円（前年同四半期比35.8%減）、営業利益は50,998千円（前年同四半期比35.5%増）となりました。

④サイエンス事業

当事業においては、連結子会社である株式会社ケーワイエーテクノロジーズが、主に理化学機器分野の研究開発、製造、販売等を行っており、日本国内の大学・研究所等の幅広い顧客と取引しております。当第2四半期連結累計期間においては、大型案件の検収があり、好調に推移いたしました。この結果、売上高は253,229千円、営業利益は17,343千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,238,329千円（前連結会計年度末比149,413千円の増加）となりました。これは主に、流動資産では、現金及び預金の減少97,292千円、受取手形の増加33,830千円及び売掛金の減少95,405千円、固定資産では、のれんの増加161,828千円及び投資その他の資産の減少14,643千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,692,871千円（前連結会計年度末比72,244千円の増加）となりました。これは主に、四半期純利益156,893千円の計上及び配当金の支払54,429千円が行われた一方で、その他有価証券評価差額金が4,591千円減少及び繰延ヘッジ損益が25,6

28千円減少したことによるものであります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は75.6%（前連結会計年度末比2.0ポイント減）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、254,569千円（前年同四半期比232,733千円の減少）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、45,744千円の収入（前年同四半期比48,176千円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益258,510千円、たな卸資産の増加85,476千円、仕入債務の減少42,925千円及び法人税等の支払額63,105千円によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、93,560千円の支出（前年同四半期比114,080千円の減少）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出112,761千円によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、55,233千円の支出（前年同四半期比44,662千円の増加）となりました。これは主に、配当金の支払額54,176千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年11月期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため、開示しておりません。通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	358,712	261,420
受取手形	116,512	150,342
電子記録債権	35,012	131,966
売掛金	576,067	480,662
有価証券	9,996	1,549
商品	203,158	303,906
仕掛品	38,758	50,245
その他	110,143	57,078
貸倒引当金	△65	△64
流動資産合計	1,448,295	1,437,107
固定資産		
有形固定資産	186,115	199,805
無形固定資産		
のれん	57,763	219,591
その他	7,098	6,824
無形固定資産合計	64,861	226,415
投資その他の資産		
投資有価証券	295,163	277,181
その他	94,479	97,819
投資その他の資産合計	389,643	375,000
固定資産合計	640,620	801,221
資産合計	2,088,916	2,238,329
負債の部		
流動負債		
買掛金	173,522	155,578
未払法人税等	63,045	108,318
賞与引当金	—	10,779
前受金	9,794	30,348
その他	101,943	99,810
流動負債合計	348,305	404,835
固定負債		
退職給付引当金	38,883	52,036
役員退職慰労引当金	70,082	75,384
資産除去債務	2,895	2,899
その他	8,122	10,301
固定負債合計	119,983	140,621
負債合計	468,288	545,457

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	121,646	121,646
利益剰余金	1,633,089	1,735,553
自己株式	△265,826	△265,826
株主資本合計	1,589,119	1,691,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,404	813
繰延ヘッジ損益	26,102	474
その他の包括利益累計額合計	31,507	1,288
純資産合計	1,620,627	1,692,871
負債純資産合計	2,088,916	2,238,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	1,096,972	1,982,531
売上原価	756,565	1,361,604
売上総利益	340,406	620,926
販売費及び一般管理費	342,267	397,582
営業利益又は営業損失(△)	△1,860	223,344
営業外収益		
受取利息	3,047	3,448
受取配当金	1,711	3,578
投資有価証券売却益	20,631	6,880
保険返戻金	1,960	13,467
為替差益	51,057	5,570
その他	4,819	3,720
営業外収益合計	83,228	36,664
営業外費用		
支払利息	195	282
支払手数料	721	1,042
その他	48	210
営業外費用合計	965	1,535
経常利益	80,402	258,472
特別利益		
固定資産売却益	—	53
特別利益合計	—	53
特別損失		
固定資産除却損	—	15
特別損失合計	—	15
税金等調整前四半期純利益	80,402	258,510
法人税、住民税及び事業税	42,205	107,764
法人税等調整額	△3,638	△6,146
法人税等合計	38,566	101,617
少数株主損益調整前四半期純利益	41,836	156,893
四半期純利益	41,836	156,893

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41,836	156,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,387	△4,591
繰延ヘッジ損益	51,124	△25,628
その他の包括利益合計	61,511	△30,219
四半期包括利益	103,348	126,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,348	126,673
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	80,402	258,510
減価償却費	7,741	8,795
のれん償却額	11,180	15,616
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△289	△1
受取利息及び受取配当金	△4,759	△7,026
支払利息	195	282
為替差損益(△は益)	△33,408	△2,661
売上債権の増減額(△は増加)	132,771	16,972
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,912	△85,476
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,012	△42,925
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,483	9,489
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,486	5,302
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,358	724
投資有価証券売却損益(△は益)	△20,631	△6,880
固定資産売却損益(△は益)	—	△53
固定資産除却損	—	15
保険返戻金	△1,960	△13,467
未払金の増減額(△は減少)	1,594	△2,984
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,808	△6,695
その他	1,991	△58,919
小計	135,866	88,619
利息及び配当金の受取額	5,356	7,045
利息の支払額	△195	△282
保険返戻金の受取額	1,960	13,467
法人税等の支払額	△49,066	△63,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	93,920	45,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△6,000	△3,100
定期預金等の払戻による収入	2,400	—
有価証券の売却及び償還による収入	20,008	10,000
有形固定資産の取得による支出	△555	△3,250
有形固定資産の売却による収入	—	226
無形固定資産の取得による支出	—	△900
投資有価証券の取得による支出	△137,782	△10,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	144,830	26,856
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△112,761
貸付けによる支出	△1,500	△500
貸付金の回収による収入	191	770
敷金の回収による収入	—	170
保険積立金の積立による支出	△1,071	△1,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,519	△93,560

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△42,252	—
配当金の支払額	△56,813	△54,176
リース債務の返済による支出	△829	△1,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,895	△55,233
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,265	3,505
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,810	△99,543
現金及び現金同等物の期首残高	463,492	354,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	487,302	254,569

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	582,816	169,937	344,218	—	1,096,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	15,661	—	15,661
計	582,816	169,937	359,880	—	1,112,633
セグメント利益又は損失(△)	△8,343	27,354	37,645	—	56,656

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	56,656
全社費用（注）	△58,517
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△1,860

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	エレクトロニクス事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	サイエンス事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,244,614	263,675	221,012	253,229	1,982,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	126,639	122	126,761
計	1,244,614	263,675	347,651	253,351	2,109,293
セグメント利益	169,104	48,052	50,998	17,343	285,498

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	285,498
全社費用（注）	△62,153
四半期連結損益計算書の営業利益	223,344

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社ケーワイエーテクノロジーズの全株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、報告セグメントを従来の3事業から「サイエンス事業」を追加し、4事業としております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

第1四半期連結会計期間より、株式会社ケーワイエーテクノロジーズの全株式を取得し、連結子会社としたことに伴い、サイエンス事業において、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、177,744千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

仕入、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	912,631	+180.5
マリン・環境機器事業	181,749	+69.1
S I 事業	—	—
サイエンス事業	216,370	—
合計	1,310,751	+202.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	1,140,977	+31.7	644,724	+28.9
マリン・環境機器事業	223,634	△6.4	377,064	△23.4
S I 事業	175,570	△41.9	75,402	△49.1
サイエンス事業	255,805	—	2,576	—
合計	1,795,988	+27.6	1,099,767	△3.6

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	1,244,614	+113.6
マリン・環境機器事業	263,675	+55.2
S I 事業	221,012	△35.8
サイエンス事業	253,229	—
合計	1,982,531	+80.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。